

G-ECS PILE. さまざまな条件下で、最良のソリューションとして採用されています。

ECS-TP工法(杭・柱直結工法)

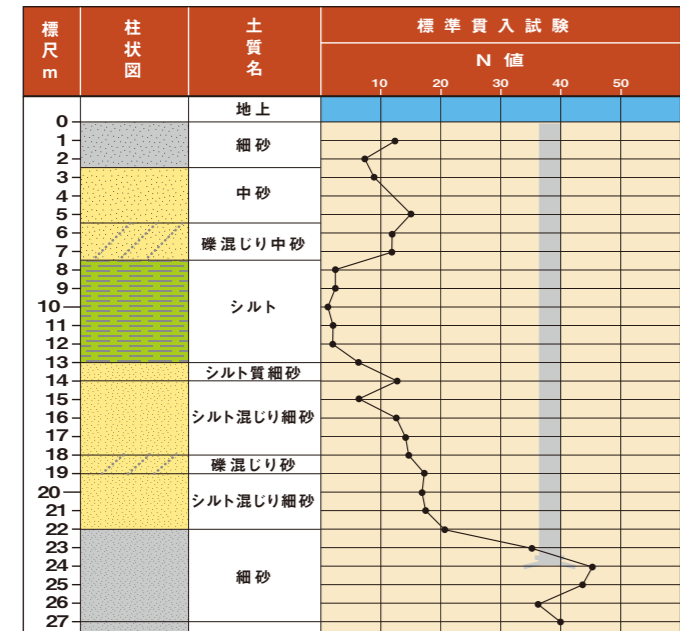
かほく市立中央保育園

受注の決め手は、2年前の施工に対する高い評価。
2012年にかほく市立みずべ保育園にて、初めて建築物にECS-TP工法が使われましたが、その時と同じ担当者、設計事務所による物件です。ECS-TP工法の経済性と短工期、そして三誠の確かな技術力への高い評価が、決め手となりました。ECS-TP工法にますますリピーターが増えてきています。

【施工年月:平成26年7月】



ボーリング柱状図



構造物概要

名称	かほく市某保育園建築工事	建築面積	約1,644㎡
施工場所	石川県かほく市	施工年月	2014/6/9~7/4
用途	保育園	杭の種類	φ216.3、φ267.4、φ318.5
構造	S造2階	杭長	23m
設計支持力	488kN,707kN,955kN	本数	計59本
先端N値	40	杭先端深度	GL-22.9m

G-ECSパイル工法

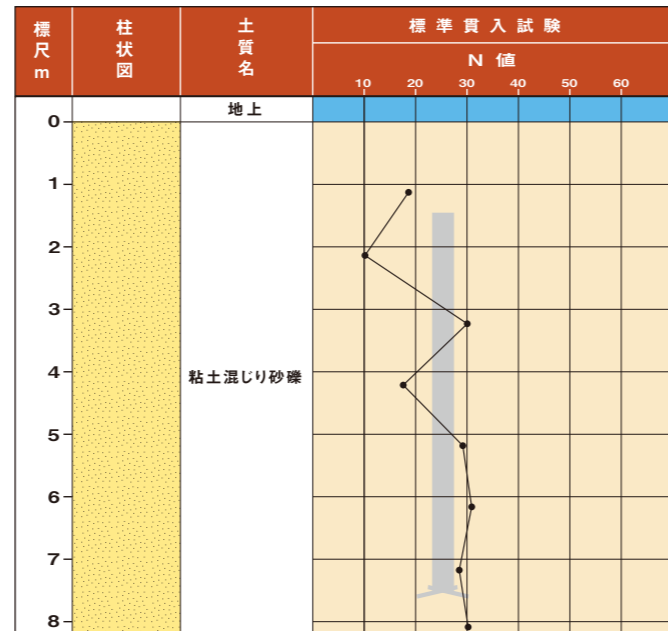
鎮西敬愛学園管理棟耐震補強工事

耐震補強に不可欠な大きな引抜き支持力を発揮。
耐震補強では引抜きが大きく発生するため、引抜き支持力が発揮できるジー・エクス・パイルを採用いただきました。授業を行いながらの施工のため、短工期、コンパクトな施工現場、低騒音、残土発生無しなども高く評価いただきました。施工に関しましては、上空制限のあるところは短尺仕様も併用し、現場状況に柔軟に対応できました。

【施工年月:平成26年7月】



ボーリング柱状図



構造物概要

名称	鎮西敬愛学園管理棟耐震補強工事	建築面積	-
施工場所	福岡県北九州市	施工年月	2014/7/4~7/16
用途	耐震補強	杭の種類	φ267.4
押込支持力	459kN	杭長	6m
引抜き支持力	255kN	本数	71本
先端N値	26	杭先端深度	GL-7.43m

株式会社 三誠
SANSEI Inc.

本社
TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162
ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>
メールアドレス info@sansei-inc.co.jp
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3国際箱崎ビル3階

編集・発行人/株式会社三誠ジー・エクス・パイル事務局
北海道営業所/東北営業所/新潟営業所/北陸出張所/北関東営業所/茨城営業所/東京支店/千葉出張所/神奈川出張所/関西営業所/中部営業所/中国出張所/九州営業所/沖縄営業所
北海道地区総代理店
株式会社 北雄産業 TEL:011-824-0111 FAX:011-824-0115 ホームページ <http://www.hokuyuu.com/>

お問い合わせは、メール info@sansei-inc.co.jp
または、FAX 03-3639-8162 (担当 営業管理部 小林) まで。

ジー・エクス・パイルの三誠がお届けするインフォメーション・ペーパー。

G-ECS NEWS

編集・発行人/株式会社三誠ジー・エクス・パイル事務局 本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3国際箱崎ビル3F
TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162 ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>

2015 May. Vol.22

三誠の
市場開拓力

公共性の高い鉄道施設で実績。採用実例をご紹介します。

始まりは、一枚の図面からでした。



富山駅新幹線高架下商業施設

鉄道物件といっても実に種類はさまざま。三誠は主にJRを中心に、ホームの上屋、エレベータの増設、駅舎、信号機などの設備、ホームの拡張、燃料タンクの設置、さらに駅近くのバス乗り場にいたるまで、幅広く施工しております。最初の施工から約10年で60件を超える実績があります。

鉄道物件の施工状況。



自由通路施工状況(神奈川県)

三誠はこの豊富な実績に基づき、物件ごとのニーズに合わせたご提案により、高い評価をいただいております。

は、発注者からいただいた相談と一枚の図面でした。その図面を元に提案から施工に至るまで1年弱の時間を要しました。当初は予算面や工期の短さなどが評価されていましたが、一度使ったこと、施工精度の高さ、おいても高い評価を得ました。鉄道工事は終電から始発までの限られた時間に行わなくてはなりません。特に首都圏では作業開始から完了までの時間が3時間ほどしかありません。そのために、さまざまなトータルを想定し準備を行います。予行演習をしてから施工した物件もあります。



上屋拡張工事(東京都)



ホーム拡張工事(宮城県)

引き続きご発注いただいているのは、ジー・エクス・パイルやECS-TP工法(杭・柱直結工法)が持つ性能に加えて、高い施工精度、それを支える周到な準備が相まった結果なのです。

ますます広がるECS-TP工法。



最新案件 高架構造物(鹿児島県)



私鉄エレベータ(千葉県)

公共性の高い鉄道関係の施工では、現場近くの通行人も多く、狭小地での施工や短い工期が求められます。三誠のジー・エクス・パイルや

今後増加が見込まれる鉄道市場をはじめ、土木分野にも力を注いでいく所存です。ますます市場を広げる三誠にご期待ください。

MONTHLY Topics

今月のトピックス

ECS-TP工法 特許取得

杭と柱を直接つなぐことで、コンクリート基礎・地中梁をなくす「ECS-TP工法」が、2015年2月27日に特許取得となりました。

全国販売店会

ベイスホールコンテスト開催

第18回全国販売店会を、5月26日(火)に開催します。

また販促キャンペーン「ベイスホールコンテスト」を今年も例年通り開催いたします。より強い結果のもと、一層の拡販を目指します。

新入社員紹介

4月1日より入社した、川原口(男性)と高尾(女性)です。川原口は工事に、高尾は営業管理部に配属されました。まだまだ未熟者ですが、一日でも早くお客様に認めていただけるよう努めてまいります。何卒よろしくお願いたします。



左/高尾 彩奈 右/川原口 涼

新出張所の紹介

3つの出張所を新たに開設。より細やかなサービスをご提供。

千葉出張所、神奈川出張所、中四国出張所の開設により、各拠点間の連携を強化。点から面への展開で二層の販売促進を図っています。新しい出張所はもとより、既存の営業所、出張所も皆様のお役に立てるよう日々チャレンジし続けます。全国に広がる三誠の営業拠点をこれからもよろしくお願いたします。

所長からのメッセージ

千葉出張所

●設立の経緯について
今まで東京支店が構築してきた販売網に加え、長年の地道な営業努力と販売店様の大きな後押しなどが相まって、千葉出張所の開設へとつながりました。

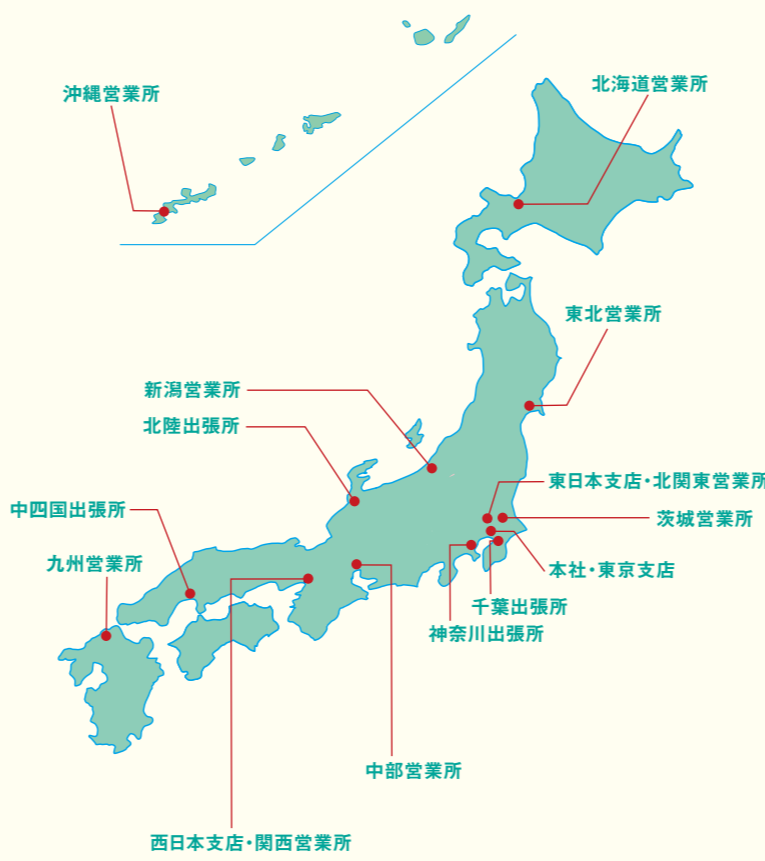
●抱負をお聞かせください。
安定した業績を確保し1日も早く営業所に昇格することです。東京湾岸には工業地帯が

広く展開しており、高速道路等のインフラの整備が進み、流通拠点としてさらなる発展が見込めます。また砂質地盤が続く鋼管杭向きの地盤であり、一般物件のほか公共物件、工場内の設備基礎の新設や改修など、活躍の場はいくつもあると思っています。

●お客様に提供できるメリットは何ですか？
何と言っても対応スピードが飛躍的に増すことです。他の営業所とも積極的に情報交換し、お互いの良い部分を取り入れたいと思っています。三誠には同規模の営業所や出張所が多く、各々がライバル意識をもって互いに切磋琢磨していきま



東京支店 東関東営業部 部長 兼 千葉出張所 所長 高浜 通

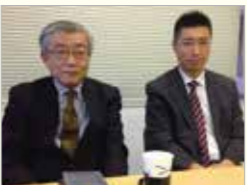


神奈川出張所

●設立の経緯について
千葉県と同じく、すでに東京支店により構築されてきた販売網がありましたが、近年物件数が増加しつつあり、加えてユーザー様からのご要望が多く、この度2名体制で出張所を開設することになりました。

●抱負をお聞かせください。
業績を伸ばして1日も早く営業所に昇格することです。神奈川県は人口も多く、経済活動も活発です。特に横浜を中心に工場や保育園など、鋼管杭の特性が生かせる物件が数多くあります。この市場に向けて、ジー・エクス・パイルの特徴である引抜き支持力や施工期間の短さをアピールすることで、さらなる開拓が図れると考えています。

●お客様に提供できるメリットは何ですか？
こちらも千葉出張所と同じく対応のスピードが飛躍的に増す点です。東京支店とも連携しやすく、直接お客様の顔を見てお話しすることにより、きめ細やかな対応ができると考えています。また、中部営業所とも連携し、静岡のお客様にも充分なサービスをご提供できるよう努めています。



(右) 東京支店 西関東営業部 課長 兼 神奈川出張所 所長 四釜 司

(左) 東京支店 西関東営業部 神奈川出張所 部長 小島 弘義

中四国出張所

●設立の経緯について
広島には元々ジー・エクス・パイルの工場があり、施工店もありましたので、出張所開設の話は以前からありました。しかし人的な問題もあり、なかなか実現できなかったのですが、満を持して今年開設することができました。現在は常駐1名、関西営業所との兼務1名の、いわば1.5名体制です。

●抱負をお聞かせください。
明るく活気のある事務所にすることで、シェアをがっちり取り、地域NO.1を目指します。広島は瀬戸内地区を中心に工場が多く、エクス・パイルなどの新しい工法をアピールできます。また、無農土といった環境面、狭小地での施工、短い工期といった、ジー・エクス・パイルのメリットをお伝えすることで新しい鋼管杭の市場を開拓します。

●お客様に提供できるメリットは何ですか？
工場や施工機が近くにるので、施工はもちろん、すべてにおいて素早く対応できます。運搬費などの経費も軽減できます。お客様に近いことで生じるメリットを活かせれば、必ずシェア拡大につながるかと確信しています。



(左) 西日本支店 関西営業所 課長 兼 中四国出張所 所長 板高 明彦

(右) 西日本支店 関西営業所 中四国出張所 課長 杉野 和年

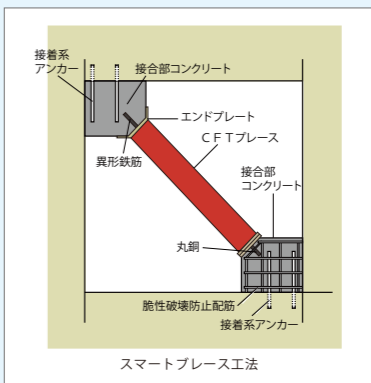
三誠のこだわり 可能性へのこだわり

スマートプレス工法とは、軸圧縮剛性と耐力が高いコンクリート充填鋼管(CFT)を圧縮のみに抵抗させる斜材(CFTプレス)として使用する耐震補強工法で、2014年9月に(財)日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しました。

スマートプレス工法は、引張力を負担しないため、図に示すように在来鉄骨プレースにある鉄骨枠が不要なので、鋼材料、アンカー工事、ハツリ

耐震補強工法「スマートプレス工法」。

2015年2月1日より販売開始。
工事、グラウト工事等が軽減できます。
鉄骨枠付プレースと比べて次のような特長があります。
①材料の低減により経済的。
②比較的軽量なので大型重機が不要で、狭い場所でも施工可能。
③アンカー工事、ハツリ工事が少ないので、騒音、振動を低減。
④工期短縮が可能。
優れた特性を持つスマートプレス工法を、よろしくお願いたします。



安全協力会総会 レポート

安全へのこだわりは三誠の重要な課題のひとつ。それを具現化するために、東日本と西日本それぞれで、定期的な安全協力総会を実施しています。

2015年度は、4月18日に山梨県笛吹市にて平成27年度株式会社三誠東日本安全協力会の総会を開催。東日本、西日本に分割して2回目となる今年は、総勢38名の皆様に参加いただきました。

各議案に関する議論の他、昨今業界内で問題となっている運搬の問題、全社で取り組んでいる

安全はすべてに優先する。

エクストラIP工法、エクストラAW工法に関する活発な議論がなされ、最後は弊社社員による安全宣言で、今期の災害撲滅を参加者全員で誓い閉会となりました。

総会の後は懇親会等を行い、会員各社の親交を深め、協力会の結束をさらに深めることができたと感じます。
また、5月23日には西日本安全協力会が開催され、こちらも活発な議論が飛び交う有意義な集まりとなりました。
今後も全国組織としての安全協力会の活動を、さらに発展させていきます。



安全協力会総会風景

営業所紹介 ⑥ 本社 総務部

総務部 部長 瀧本 真人

3つの機能を持つ本社総務部。 縁の下の力持ちです。

●機能① 総務
各種イベント運営、資産管理、役員秘書業務、社内の施設の保全、設備品の購入や事務所の管理、社員教育、社内制度の改善・推進など非常に幅広い業務を行っています。ここ1年ほどで、人材採用、人事考課、社員研修の仕事が移管されました。また、三誠ホールディングス、三誠A1R断震システムの2社が関係会社となったことから、今後は関連業務が増大することが予想されます。

●機能② 経理
日・週・月・年単位でお金の流れを管理。会社の会計を一手に担っています。企業経営を健全な方向に進めていくための判断材料となる情報を発信していくのが主な仕事です。お金を管理する部門なので正確性が要求されるため、ミスのないよう注意をして業務を進めています。

●機能③ システム管理
PCや各種システム、ソフトの管理はもちろんです。複合機やビデオカメラまで、電源の付いている物はほとんど管理しています。新しく営業所をオープンする際は、電話や社内LANの構築等、開所準備を行っています。システム課というより設備課といった方が現実に近いかもしれません。

異なる3つの機能がひとつの部署にあるので、日ごろのコミュニケーションがとても重要。週1回の合同会議を開き、業務の連携を図っています。また、総務部主導で毎月全国の業務課を中心とした事務連携会議を開き、事務処理についての改善・効率化を進めています。

真剣に仕事の話をしている時もあれば、ひと息つくための雑談もします。『やる時はやる、抜く時は抜く』という緩急ある職場で、お互いを尊重し合い楽しく働いています。そのせいか、何か問題があった場合はすぐにその場で相談しあい解決することができています。

創業したての頃は、総務という部署もなく、何もわからずに黙々と事務処理をしていました。その後会社の成長に伴い、グループウェアの導入、会計ソフトの入れ替え、WEB会議システムの整備など、着々と環境を整備しながら今に至っています。今後の課題としては、業績の拡大、従業員数の増大、関係会社との業務拡大に対応する体制の整備だと思っています。社員が働きやすい環境を整え、業務が円滑に行われるようサポートする、会社の要の部署です。ですので、皆が気分よく働けるようにきめ細かな対応をしていきたいと思っています。

これからもより良い社内になるよう総務一同頑張っていきます。



本社総務部のメンバー